

平成23年度 道路建設技術講演会



平成23年度道路建設技術講演会を(社)日本道路建設業協会中部支部主催、国土交通省中部地方整備局後援、(社)日本道路協会・(社)日本建設業連合会中部支部・(社)中部建設協会・(社)名古屋建設業協会・中部緊急防災協会の共催をいただき11月9日に名古屋市東文化小劇場で開催しました。会場には会員の皆様、官公庁の方々を中心に280人の参加者で会場は満席でした。岩田支部長の開会の挨拶につづき、講演会にはいりました。

京都大学大学院工学研究科 藤井聰教授の講演テーマは「公共事業が地域を救う」。発生が予想されている首都直下型や東海・東南海など巨大地震に備えた「列島強靭化」の必要性や、積極的な公共投資がデフレ解消につながることを分かりやすく説いた。また環太平洋経済連携協定(TPP)の問題にも言及しました。

中部地方整備局 佐々木一英企画部長は「建設事業をめぐる最近の話題」をテーマにし、東日本大震災を踏まえた中部地方の防災対策、台風12・15号による被災への対応、12年度概算要求、建設生産システムなどについて話されました。参加者は熱心に講演に聞き入っていました、実りのある講演会になったと思います。

